

# 衆議院法務委員会ニュース

平成 26.3.19 第 186 回国会第 5 号

3月19日(水)、第5回の委員会が開かれました。

## 1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

- ・谷垣法務大臣、奥野法務副大臣、亀岡内閣府大臣政務官、平口法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 宮澤博行君(自民)

- ・法務省に設置されている相続法制検討ワーキングチームでは、これまでにどのような議論がされてきたのか、また、今後、婚姻制度について、法律婚を重視するという方向性で議論がされていくのかを含め、どのような方向で議論がなされていくのか、伺いたい。
  - ・児童養護施設に入所している児童に対する就職支援をしていく上で、協力雇用主として登録している企業の情報を児童養護施設と共有することが重要であると思うが、情報の共有をしていくことが可能か、伺いたい。
  - ・観光立国を実現していくため、出入国審査手続の円滑化に関して、来年度どのような施策を実施するのか、伺いたい。
- ・家庭裁判所が、離婚後の親子の面会交流を仲介する団体の情報提供を行う際に、その中立性・公平性を確保するためにどのような運用を行っているのか、最高裁判所当局に伺いたい。
  - ・離婚後の親子関係に関し、子の福祉に配慮して制度を整備していく必要があると考えるが、現在の我が国における離婚後の親子関係について、法務大臣の見解を伺いたい。
  - ・取調べの可視化についての法制審議会「新時代の刑事司法制度特別部会」の作業部会のたたき台について、なぜこういう制度になるのか、国民に分かりやすく説明しながら審議を続けなければいけないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 大見正君(自民)

- ・少年犯罪が減少する中で、少年法の改正により更に厳罰化を行おうとしていることについて疑問を感じている。過去の少年法改正による少年犯罪の厳罰化の経緯とその効果についてどのように評価しており、今回、更に厳罰化を行わなければならないのはどのような理由によるものか、伺いたい。
- ・少年院の矯正教育において行われている被害者の視点を取り入れた教育の内容とその効果について、伺いたい。
- ・今後、成年年齢に関連する諸法律が変わり得ることについて、法務大臣の見解を伺いたい。また、成年年齢の引き下げの時期について、法制審議会の答申では、「国民への浸透の程度やそれについての国民の意識を踏まえて判断するのが相当である」としているが、どのように判断してこの答申に応えていくのか、法務大臣の見解を伺いたい。

### 浜地雅一君(公明)

- ・離婚後の親子の面会交流の仲介を行っている公益社団法人家庭問題情報センターの活動が公平性に問題があるという意見があるが、同法人の定款に面会交流の援助が団体の目的として入っているのか。また、公益性の認定に関する内閣府からの法務省への問合せの有無と回答内容について、伺いたい。

### 郡和子君(民主)

- ・死因究明等推進法において、「法医学に関する知見を活用して死因究明を行う専門的な機関の全国的な整備」が基本方針の一つとして規定されているが、政府としてこれを推進していく意思があるのか、見解を伺いたい。
- ・科学捜査研究所による鑑定検査は、中立性・専門性に疑義があるので、死因究明は、原則として法医学教室に委託すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・外国人材の受入れ問題について、各省庁で技能実習制度の見直しなどの議論がされているが、出入国管理行政を所管する法務省はどのように考えているのか、法務大臣の見解を伺いたい。

### 西田讓君(維新)

- ・人権の定義について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・人権擁護行政が、人権侵害事件の救済と人権啓発の2本柱になっている理由について、伺いたい。
- ・人権啓発冊子に主な人権課題が掲げられているが、人権課題を17項目とした理由について、伺いたい。
- ・人権擁護行政の取組内容が、他省庁が所管する法律の宣伝、他省庁の取組のサポート又は本来なら司法の場で解決されるべき事項になっているのではないかと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

## 高橋 みほ君（維新）

- ・外国人技能実習制度について、平成25年4月に総務省が、技能実習生の適切な受入れに向けた取組状況等の調査結果に基づいて必要な改善措置を勧告しているが、法務省は勧告を受けてどのような対応をしたのか、伺いたい。
- ・技能実習生の死亡事故において、脳・心臓疾患の割合が高いと考えるが、現在は過労が原因と考えられるような死亡事故はなくなっているのか、伺いたい。また、労働関係法令違反等の不正行為が再び増加傾向にあるとのことであるが、その理由を伺いたい。
- ・建設産業の担い手の確保のために技能実習生を活用すべきであるとの意見があるが、技能実習制度の趣旨から外れているのではないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・取調べの可視化及び取調べにおける弁護人の立会権の保障について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・弁護人の接見に際して、カメラ、録音機器、パソコン、携帯電話等の持込みを認めるべきであると考えているが、持込みを認めていない理由について、伺いたい。

## 椎名 毅君（結い）

- ・日本の人口が減少しつつある現状において、妊娠中絶が年間

約20万件行われている。様々な理由はあると思うが、子供は国の宝であり、社会的擁護を充実させることが必要である。中でも、里親委託制度の重要度を上げるべきと考えるが、見解を伺いたい。

- ・子供を育てるには、家庭環境で育てることが教育的にも福祉的にも望ましいが、児童福祉施設等、施設内において子供を育てることの基本的背景は何か、伺いたい。
- ・現在の戸籍では、特別養子縁組を行ったことが間接的に戸籍に記載されてしまう。特別養子縁組に関する記載を戸籍の附票に移すことも検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・子供の社会的擁護のためには特別養子縁組を進めていくことも必要と考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

## 鈴木 貴子君（無）

- ・証人テストの在り方について、検証をする必要がなく、網羅的に把握していないと答弁しているにもかかわらず、適正に行われていると断言できる理由について、伺いたい。
- ・新聞報道等の外部からの指摘を踏まえた証人テストの在り方の見直しの検討の可能性について、伺いたい。
- ・今後の対策として、証人テストの可視化の導入等を含めた検討をすべきだと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

## 2 少年法の一部を改正する法律案（内閣提出第14号）

- ・谷垣法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。